

都市戦略局

一般会計要求総額 3,556百万円
(対前年度 ▲0.4%)
特別会計要求総額 431百万円
(対前年度 ▲16.3%)



<令和8年度 予算要求の方針>

都市戦略局は、北九州市が目指す都市像を実現するために、持続可能で魅力ある都市づくりを推進し、市民の生活の質の向上を図ります。

長期的・全市的な視点で、まちづくりの課題の解決に向けて、政策を着実に実行していきます。

令和8年度は、新たに策定する都市デザインに基づく民間開発の促進や、まちの賑わいを支える公共交通の利便性向上に取り組むことで、市民の暮らしやまちの彩りを高めていきます。

併せて、社会経済情勢を踏まえた公共交通事業者に対する支援内容の見直しや、民間建築物の安全・安心の推進に関する5つの事業の統合・再編を行うなど、「財政の模様替え」を積極的に行い、まちづくりの課題の解決に向けた取組をより一層強化していきます。

<予算要求の基本的な考え方>

新：新規事業

拡：拡充事業

「稼げるまち」の実現

都市間の連携強化や産業集積促進のため、道路網の充実・強化に取り組みます。

拡 北九州高速道路建設事業
下関北九州道路調査費

「彩りあるまち」の実現

都市の魅力や価値を向上させるため、新たに策定する都市デザインに基づく民間開発の促進や、まちの賑わいを支える公共交通の利便性向上に取り組むとともに、戦略的プロモーションにより都市の魅力を発信します。

これにより、国内外から人や企業を呼び込むとともに、それが都市の価値や魅力を更に向上させる、好循環の実現を図ります。



コクラBEAT



クロサキスイッチ

新 小倉駅周辺快適トイレ大作戦
新 グリーンインフラ社会実装モデル事業
新 みんなで創る！
公共交通「北九州モデル」推進事業
拡 リビテーション推進事業
拡 すまいる北九州 移住応援事業
「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業
公民連携による公園魅力向上事業
未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業

「安らぐまち」の実現

市民の安全・安心な暮らしを確保・充実するため、災害に強いまちづくりを推進するとともに、モノレールなどの都市基盤・施設の維持、公共交通の不便地域などにおける移動手段の確保などに取り組みます。

新 ミライの安心につなげる
「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」
拡 マンション管理適正化推進事業
空き家対策事業
地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」

※ 公開時点での要求内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

（単位：千円）

「稼げるまち」の実現		
1	拡	【事業名】 北九州高速道路建設事業 【事業費】 420,000千円 【事業概要】 福岡北九州高速道路公社が実施する、北九州高速5号線（戸畑枝光線）の新設や、北九州高速1～4号線における耐震補強等に伴い、設立団体として出資金・特別転貸債に係る経費を負担する。
		【事業名】 下関北九州道路調査費 【事業費】 6,000千円 【事業概要】 関門地域の一体的発展を支えるとともに、関門国道トンネル・関門橋の老朽化への対応や代替機能を確保することで西日本地域の広域道路ネットワークを支える極めて重要な道路として、下関北九州道路の整備を促進する。
「彩りあるまち」の実現		
3	新	【事業名】 小倉駅周辺快適トイレ大作戦 【事業費】 2,000千円 【事業概要】 都市アメニティとしてのトイレに着目し、トイレを「まちなかの小さな憩い空間」ととらえ、「女性のコンフォート」＝「みんなのコンフォート」という女性目線により小倉駅周辺エリアのトイレ環境を市民参画で改善することで、市内外からの来訪者へのおもてなしのまちづくりにつなげる。
		【事業名】 グリーンインフラ社会実装モデル事業 【事業費】 13,000千円 【事業概要】 持続可能で魅力的な「彩りあるまち」を目指し、自然環境を活かしたグリーンインフラを戦略的に導入するため、大学機関をはじめとする多様な主体と連携し、2027年開催の国際園芸博覧会において、新技術やAIを活用したグリーンインフラモデルを展示することで、北九州市における社会実装を推進する。
5	新	【事業名】 みんなで創る！公共交通「北九州モデル」推進事業 【事業費】 15,000千円 【事業概要】 シニアをはじめとする交通弱者など、誰もが安心して移動できる公共交通の維持・確保を目指し、多様な情報収集によりお困りごとを把握し、新たな移動手段の確保に向けた検討や実証に加え、あらゆる世代への利用促進や啓発活動を進めていく、官民連携による北九州モデル（第2弾）を推進する。
		【事業名】 リビテーション推進事業 【事業費】 493,000千円 【事業概要】 小倉駅周辺等の民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図る「コクラ・クロサキ リビテーション」を推進するため、小倉北区京町三丁目14番地区において次世代仕様のオフィスの建設を行う事業者等に対して、整備費等の一部を補助する。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「彩りあるまち」の実現

7	拡	<p>【事業名】すまいる北九州 移住応援事業 【事業費】147,400千円</p> <p>【事業概要】 北九州市への移住を推進するため、若者・子育て世帯をメインターゲットとして、情報発信を強化するとともに、相談窓口、お試し暮らし、移住支援金や住宅取得等費用の支援等により、移住の検討段階に応じた切れ目のない支援を行う。</p> <p>【財政の模様替え】 HPやメディアを活用したPR経費などを一部見直すとともに、データを活用したより効果的・効率的な情報発信等を強化する。併せて、移住相談に関する既存事業を統合し、効率的な予算執行を図る。</p>
		<p>【事業名】「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業 【事業費】60,460千円</p> <p>【事業概要】 民間投資を呼び込みエリアの価値向上を図るため、有識者等の意見を踏まえながら、公共空間再編に向けた社会実験を実施するとともに、まちの魅力を高めていく官民連携のプロジェクトの検討を行い、都市デザインを推進する。</p> <p>【財政の模様替え】 費用対効果や事業の優先順位を踏まえてウォークアブル空間創出に係る社会実験を見直すとともに、都市デザインの実現に向けて新たに官民連携のプロジェクトの検討を開始する。</p>
		<p>【事業名】公民連携による公園魅力向上事業 【事業費】8,000千円</p> <p>【事業概要】 民間活力の導入により公園の魅力向上を図るため、民間事業者との対話を行うとともに、対象事業地についての計画策定や、事業実施に向けての測量や事業費の算出等を行う。</p>
10		<p>【事業名】未来につなぐ公共交通リ・デザイン事業 【事業費】17,279千円</p> <p>【事業概要】 公共交通の利便性、持続可能性、生産性向上を目指すため、公共交通のDXやバリアフリー化等により、誰もが利用しやすい環境づくりに取り組むとともに、持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた検討を実施する。</p> <p>【財政の模様替え】 民間導入の進捗状況を踏まえてユニバーサルデザインタクシーやタクシー配車システムの導入支援を見直すとともに、運転手確保支援や東九州新幹線鉄道の早期実現に向けた活動等を強化する。</p>
「安らぐまち」の実現		
11	新	<p>【事業名】ミライの安心につなげる「住宅・建築物耐震化等安全推進事業」 【事業費】62,122千円</p> <p>【事業概要】 市民の安全・安心な暮らしを促進するため、民間建築物について、耐震化や危険ブロック塀の除去、吹付アスベスト対策にかかる工事費等を支援するとともに、その普及啓発にかかる取組を行う。</p> <p>【財政の模様替え】 民間建築物の安全・安心の推進に関する既存5事業を統合・再編して効率的な予算執行を図るとともに、耐震性が不足する住宅の除却費支援を強化する。</p>

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「安らぐまち」の実現		
12	拡	<p>【事業名】 マンション管理適正化推進事業 【事業費】 15,000千円</p> <p>【事業概要】 市内の分譲マンションにおける管理の適正化を推進するため、関係団体と緊密に連携し、管理組合の課題や管理状況に応じたアドバイザー派遣や管理規約等の作成補助等を行う。</p> <p>【財政の模様替え】 令和7年度に実施した分譲マンション実態調査の経費を見直すとともに、これまで実施していた各種支援事業を、個々のマンションの管理状況に合わせた「アドバイザー派遣事業」として一本化する。</p>
		<p>【事業名】 空き家対策事業 【事業費】 166,500千円</p> <p>【事業概要】 相談対応のDX化を行うとともに、空き家バンクの対象を拡充するなど、空き家・空き地対策の3つの柱である「発生予防啓発・管理促進」「活用促進」「管理不全の解消」を官民連携で取り組み、総合的な対策を推進する。</p> <p>【財政の模様替え】 空家等管理活用支援法人に係る委託料等を見直すとともに、相談窓口のDX化、空き家バンクへの「管理負担軽減型賃貸」プランの追加等を行う。</p>
14		<p>【事業名】 地域の生活交通を確保する「おでかけ交通支援事業」 【事業費】 201,000千円</p> <p>【事業概要】 公共交通空白地域における地域住民の生活交通を確保するため、おでかけ交通を運行するタクシー事業者や車両の小型化により路線を維持するバス事業者への運行支援等を実施する。</p> <p>【財政の模様替え】 地域の実情や運行状況等を踏まえてバス事業者への運行支援を見直すとともに、おでかけ交通の新規路線の追加やAIオンデマンドバスの導入実証試験等を行う。</p>